

学習内容報告書 フォーマット

学校名	呉市立広南中学校
授業者	浦上晋次 上本 正 森澤 葉子 裏山 富美子 荒谷 政俊

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

南海トラフ巨大地震を想定した防災の具体について防災マニュアルの改訂

1-2. 学年

2・3年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習 総合 特活

1-4. 単元の概要

(1) もし南海トラフ地震が起こったら（巨大津波を想定）
 (2) 地域の避難場所である本校での避難生活
 (3) 中学生の私たちにできること
 (4) 昨年度作成した防災パンフレットを改訂し地域に配布する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、瀬戸内海に面し、背後には螺が峰という山が迫る自然環境豊かな地域にある。よって、海辺の環境や木々の緑は私たちの暮らしや心の潤いに欠くことができないものでもある。そこで、瀬戸内海の海辺の自然の恵みや環境について調べることで、地域の自然環境に関心を持ち、保全していこうとする実践的態度を育てたい。また、過去の豪雨や台風による浸水等の災害の歴史を学びながら、南海トラフ地震を想定した津波や土砂崩れなどの被害から命を守るために、地域の自治会などと共に、自らどのように判断し行動できるかについて、昨年度の防災マニュアルを見直し、自己回避力を身に付けさせる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

地域の方と協働し、防災に関する基本的な知識を習得し、地域に対する感謝・貢献する力、仲間と協力・協働する力、自分の役割を果たすこと、自分の命を守る責任・使命の態度を身につけさせたい。

1-7. 単元の展開（全6時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
----	-----------	------------------------------

情報収集Ⅱ

STEP 4 「課題を意識しながら、パンフレットの改訂箇所を確認しよう。」

- 呉工業高等専門学校先生による南海トラフ地震への対応についての防災教育講演会で具体的な対策について確認する。

STEP 5 「それぞれの役割の中で、やるべきことを順序立て、準備をしよう」

- ・各分担で、どのように仕事を進めるかを確認し、必要なものをリストアップする。
- ・作業日程を決め、それぞれ作業を始める。

STEP 6 「パンフレットの改訂」

- ・改訂に向けた進捗状況を、全体で確認し、協働して作業する。

★【協力・協働】

改訂にあたって、必要なものは何か、アイデアを出し合ったり考えを出し合ったりできる。



★【知識・技能】

より良く伝えるためにどのような工夫点があるか、考える。(振り返りシート)

★【協力・協働】

相互に話し合ったりアドバイスをしたりして、効果的な表現にしようとしている。

協力・協働して作業をしている。(行動観察・振り返りシート)

整理・分析Ⅱ

新たな課題の設定

STEP 7 「必要な箇所を見直そう」

- 原稿を先生方に見てもらい、アドバイスをもらう。その中で、改善点を見つけ、改善する。

まとめ・創造・表現

STEP 8 「パンフレットにまとめる」

- 感想ボードの設置とアンケートを準備し、感想を書いてもらう。

振り返り

- 「単元で身に付けた資質・能力を振り返ろう」

- ・ワークシートのルーブリックを見て、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。
- ・ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。

★【責任・使命】

自分の役割を理解し、何をしなければならないか等、自分の責任を果たしているか振り返る。

【思考・表現】

伝わるように、表現方法を工夫している。(行動観察・振り返り)

★【感謝・貢献】

- ・感想ボードや自身の振り返りシートを見返しながら、ルーブリックの項目について自己評価を行い、自分の資質・能力の成長を確認する。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 呉工業高等専門学校先生による南海トラフ巨大地震への対応についての防災教育講演会で具体的な対策について
確認し、マニュアルの改訂に必要な点に気づく。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩たちの去年の創作劇から、先輩たちが防災のために伝えたかったメッセージは何か、どんな準備が必要か考える。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて STEP1</p> <p>「去年の先輩たちの取組から学んだことを活かしてバージョンアップする部分やさらに必要なものは何かを考えよう。」</p> <p>3 専門家（呉高専の先生）の話を聞き、参考になったこと等、考えたことを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表し、交流し合う。 挑戦問題を知る。 ループリックでこの単元で身に付ける力を確認する。 <p><挑戦問題の提示></p> <p>「ふるさとの未来のために、どのような防災メッセージをつたえるか。」</p> <p>「より良いマニュアルにするために必要な要素を考える。」</p> <p><予習課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 次回は地域への伝える内容について考えるので、どんな案があるか、考えてくること 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年は長浜地区を中心に考えたが小坪地区はどのようにしたら良いか考えたい。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩たちのテーマの設定の仕方を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・災害はいつどんな規模で起こるかわからない。 ・想定される状況への対処を具体的に考える必要がある。 ・ループリックで、今回身に付ける力を確認する。 </div> <p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩たちが作ったマニュアルをきちんと改訂するか不安だ。 ・地域の人の役に立つマニュアルをつくりたい。 <p>★【挑戦・探究】</p> <p>昨年作成したマニュアルをさらに地域の実態に合わせて改訂したい。（振り返りシート）</p>

3. 今回の活動の自己評価

【生徒の振り返りより】

- ・昨年度に引き続き地域の方や保護者に防災学習で学んだ知識・技能を自信を持って伝えることができました。
- ・今後も地域の方と協力して巨大地震が来ても犠牲者0にできるような避難マニュアルを考えていきたいです。
- ・地域の方と協働し、防災マニュアルをバージョンアップすることが出来、防災に関する基本的な知識とともに、地域に対する感謝・貢献する力、仲間と協力・協働する力、自分の役割を果たすこと、自分の命を守ることの責任・使命の力が付いた。

4. 今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染対策による休業により、取り組む時間や時期が大幅に少なくなったり、遅れたりしたが、地域や講師の理解と協力をいただき、充実した内容になった。
- ・更なる避難マニュアルのバージョンアップに向け、地域の実態を確認し具体的な避難シミュレーションを行う必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

本校は毎年、自分たちが育ってきたふるさとの未来に貢献するための課題を設定し、課題解決へむけたメッセージを地域に発信している。

この取組を通して地域の課題を明らかにし、ふるさとへの社会貢献に向けた自分たちの志を確かなものにする。

今年度は昨年度に引き続き、目の前に広がる瀬戸内海で南海トラフ地震が発生する想定で、専門家や各教科から学んだ知識・技能を総合的に発揮し、協働して対策を考えさせた。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。